

# 同窓会報

No.75

編集発行

三重県立  
四日市高等学校  
同窓会

四日市市茂福65  
TEL <059> 365-3631

印刷

㈱東海フォトデザインシステム



## 故郷に帰って

同窓会副会長 種橋潤治  
(四高43年度卒)

私は、大学を卒業するまで四日市に居住していましたが、就職に伴い当地を離れ、大阪・東京で35年間会社勤めをした後、平成20年に四日市に戻って仕事をすることをいたしました。いつかは当地に戻って暮らしたいと考えていましたが、故郷に戻って、何よりも嬉しかったのは、四高の先輩・後輩・同期生の存在です。それなりの土地勘はありましたが、当地で仕事をするのは初めてで戸惑うこともありましたが、そんな時に、いつも力づけてくれたのが、四高の同窓

会の皆様です。先輩や後輩からは当地の歴史やしきたり、様々な情報を教えていただくことが多々あります。同期生の交流は活発で、様々な機会を捉えて集まり、親交を深めております。現在、私は四日市商工会議所の会頭として、「地域商工業の発展につとめ、豊かで活気あふれる地域・社会づくりに貢献する」ことに努めており、その活動の中で、四高の学校長・教頭先生や在校生の方と一緒する機会も増えました。昨年9月には、四日市の中心市街地でベト

ナムフェアを開催し、四高の在校生で昨春のベトナムの高校との相互交流に参加された方に会場で交流報告をしていただき、大変好評でした。これからも、四高同窓会の副会長として、世帯を超えた交流の活性化と在校生の支援に尽力していくつもりです。そして、四高をはじめ地元の高校生の人たちに地域の商工業への理解を深めていただき、将来、当地で活躍したいと思っただけのような地域・社会を創ることに努めていきます。

## <平成30年度総会のご案内>

平成30年度総会を下記の通り開催いたします。会員の皆様におかれましては、お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

○日時

平成30年6月2日(土)

13時30分受付/14時00分開会

○場所

四日市市総合会館8階 視聴覚室

○記念講演(総会后)

<講師>

国土交通省中部運輸局長

石澤龍彦氏(四高56年度卒)

<演題>

「最近の交通・観光行政の取組について」

終了後 ・抽選会のあと記念撮影  
・喫茶室にてティー・パーティー(無料)

※講演につきましては、一般に公開しております。お知り合いで、ご興味のあります方には、ご案内下さい。

## 会費納入のお願い

同窓会の事業はすべて会費により運営されています。会報の送付なども、財政上の理由から会費を納めた方だけに限らせていただいております。納入がまだお済みでない場合には、是非お早めにお願ひ申し上げます。

◆納入金額

終身会費 20,000円  
毎年納入の場合 年会費 1,000円

◆納入方法

①郵便振替

口座番号 00820-8-6367

三重県立四日市高校同窓会

※専用の振込用紙がありますのでご連絡下さい。

②現金書留

会館迄ご送金下さい。

《お問い合わせは同窓会館まで》

TEL・FAX 059-365-3631

Eメール sikoukai@m2.cty-net.ne.jp

http://www.pcs.ne.jp/~shiko/

部活動では、今年も多くの部員が志のある生徒が増えてきています。

ご挨拶とさせていただきます。

同窓会の皆様には、今後とも母校へのご支援とご協力をお願い申し上げます。四高同窓会の益々のご発展を祈念申し上げます。

同窓会の皆様には、今後とも母校へのご支援とご協力をお願い申し上げます。四高同窓会の益々のご発展を祈念申し上げます。



## あまね 遍く険しく 光輝く八稜星のごとく 学校長 和田欣子

同窓会の皆様には、ご健勝にご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育の充実発展のため、多大なるご支援とご協力を賜っておりますことに、心より感謝申し上げます。

が活躍しました。東海大会には陸上・体操・テニス・柔道・バトン・卓球・水泳部が、全国大会には、陸上・体操・水泳・将棋・放送・文芸・SSH生物部・科学部が出場しました。大会に出場する選手には、同窓会から激励金を授与していただきました。感謝申し上げます。

現在、高大接続改革が急速に進められています。来年度の入学生から、センター試験にかわり、新たに大学入学共通テストを受験することになる予定です。

その方向は、まさに本校がこれまで大切にしてきたことであり、SGH事業で取り組んできたことです。慌てずに、課題探究型授業の充実、英語力の向上など、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

昨年度の進路状況は、国公立大学に297名(昨年比61名増)、うち国立難関10大学には131名(昨年比30名増)が合格しました。医学部医学科には23名(昨年比9名増)が合格し、

同窓会の皆様には、今後とも母校へのご支援とご協力をお願い申し上げます。四高同窓会の益々のご発展を祈念申し上げます。

来年、母校は創立百二十年を迎える。人間の年齢でいえば大還暦である。十千十二支を二周することになる。ちなみに、世界中の人間で、この大還暦に達したのは、フランス人女性ただ一人であるらしい。ついに四日市高校は、人ひとりの寿命を超えて、歴史の領域に踏み入ったというべきだろう。慶賀の至りである。一方で、歴史が深まれば、語り継ぎ、後世に遺す努力も忘れてはなるまい。それを怠れば、大切な事柄が歴史の闇に埋もれてしまう。周年事業はそうした機会であると思う。▼「四日市高校百年史」を紐解けば、明治42(一九〇九)年、旧制第二中学は創立10周年記念式典を挙行している。母校最初の周年行事である。その後、富田中学と校名を改称し、大正13(一九一四)年には創立25周年記念式典を盛大に執り行っている。昭和の時代に入ると次第に戦争の影が濃くなるが、30周年、40周年と記念式典は行われている。▼そして、戦争とともに富中の時代は終焉し、四日市高女、北高女と統合して新制四日市高校となる。これ以降は60周年を皮切りに十年刻みで周年事業を着実に実施している。特筆すべきは、半世紀という大きな節目であるはずの50周年が祝われていないということである。これは、ひとえに戦後の学制改革の混乱によるところであろう。当該年である昭和24(一九四九)年は、周辺の新制高校を統合した大日市高校と呼ばれる時期であった。▼こうしてみると、周年行事の実施には、社会的な安定が不可欠といえる。平和と安定が永続することを祈りつつ、母校の大還暦を祝いたい。

(青山)



会長あいさつ



総会参加の皆さん



講師 南川氏

副会長杉本氏のご紹介により、元環境事務次官でいらっしゃる南川秀樹氏に、「環境保全にかかる世界と日本の動き」にかかる世界と日本の動き―地球温暖化、自然保護、廃棄物・リサイクル、2011・3・11以降の動き―と題した講演を行っていただきました。

人為的要因によるところが大きい温暖化等により実際に起きている自然破壊や、経済が伸びれば避けることのできない増え続けるゴミ処理の問題に対し、3・11以降、我々の意識にも変化が現れ始めています。が、実際には環境問題はそう簡単には解決しないという現実もあります。しかし東京オリンピックに向けて廃棄物からメダルというメダルプロジェクトも立ち上げられているということで、今後の意識改革に一役かっつもらいたいのご提案もありました。



四高昭和35年度以降



富中・四女・四高昭和34年度以前

# 平成29年度 四日市高校同窓会総会報告

## 記念講演 南川秀樹氏（四高42年度卒）

### 「環境保全にかかる世界と日本の動き」

平成29年6月3日  
四日市商工会議所

#### 一般財団法人四高会 平成28年度 収支決算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

科目		摘要	決算額	予算額
I. 収入の部				
① 事業収入	会館使用料		41,000	60,000
② 受取寄付金収入	同窓会より		1,230,000	1,230,000
③ 雑収入	受取利息等		2,379	719
合計			1,273,379	1,290,719
II. 支出の部				
① 事業費・管理費支出			1,466,463	1,599,000
会議費支出	会議等		111,844	60,000
講演開催費支出	講演会		75,953	150,000
地元協力費支出	十四川の桜管理		50,000	50,000
消耗品費支出	コピー機、事務諸経費		163,071	200,000
光熱水料費支出	電気、水道、ガス		382,184	420,000
保険料支出	火災保険料		23,510	25,000
租税公課支出	県税、市税、固定資産税、源泉税等		458,085	430,000
清掃費支出	環境整備等		38,884	150,000
支払負担金支出	商工会議所		14,000	14,000
雑費支出	証明書発行、登記関連費用等		148,932	100,000
② 投資活動支出			1,000,000	1,000,000
修繕引当資産取得支出	会館修繕目的		1,000,000	1,000,000
② 予備費支出			0	10,000
合計			2,466,463	2,609,000
III. 当年度収支差額			△1,193,084	△1,318,281
IV. 前年度繰越収支差額			1,618,281	1,618,281
V. 次年度繰越収支差額			425,197	300,000

百五銀行富田駅前支店普通預金	単位: 円
次年度繰越収支差額	425,197

修繕引当資産(百五銀行富田駅前支店定期預金)	単位: 円
前年度末	700,000
今年度積立金	1,000,000
利子	0
今年度末	1,700,000

#### 四日市高校同窓会 平成28年度 収支決算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

項目		細目	摘要	決算額	予算額
【収入の部】					
① 同窓会収入				7,746,800	7,844,000
入会金	全日制	1,800円×1,071人		1,927,800	1,944,000
同窓会費	終身(20000)	284	5,680,000		
	10年(10000)		0		
	5年(5000)		0		
	2年(2000)	1	2,000		
	1年(1000)	137	137,000	5,819,000	5,900,000
② 雑収益	利子、その他			330,573	34,782
③ 前期繰越金				541,218	541,218
合計				8,618,591	8,420,000

項目		細目	摘要	決算額	予算額
【支出の部】					
① 運営費				1,437,958	1,500,000
給料、手当	与務			1,174,000	1,200,000
印刷、事務用品等	通信			129,479	150,000
電話、郵便、インターネット関連費など				134,479	150,000
合計				183,590	330,000
② 会議費				130,379	200,000
会場費、懇親会費、案内状	総理事			46,731	100,000
会場費、会議費、案内状	常任理事			6,480	30,000
③ 事業費				1,898,403	2,000,000
会報印刷及び発送費	会報			893,403	1,000,000
激励金・語学研修補助	クラブ活動			1,005,000	1,000,000
④ 四高会拠出金				1,230,000	1,230,000
⑤ 積立金				3,300,000	3,300,000
⑥ 予備費				20,000	60,000
合計				8,069,951	8,420,000

百五銀行富田駅前支店普通預金	単位: 円
平成28年度収入	8,618,591
平成28年度支出	8,069,951
次年度繰越金	548,640
平成28年度卒業生 同窓会費預り金	6,022,000
今年度末	6,570,640

特別会計積立金(百五銀行富田駅前支店定期預金)	単位: 円
前年度末	48,098,245
今年度積立金	3,300,000
利子	6,346
今年度末	51,404,591

四高同窓会

第9回銀城親睦ゴルフ大会 開催される



会長あいさつ



男女優勝者



パーティー会場

平成29年11月9日(木)、女性4名を含む77名のご参加により四日市カントリークラブで開催されました。

男子の部優勝並びにB.G賞は貝沼悟さん(四高46年度卒)、女子の部優勝は川村智子さん

岡田卓也氏(富中40回卒)

演題『四高野球の歴史』を拝聴

伊藤正継(四高30年度卒)

四日市高校公式野球部OB会は毎年1月に総会が開催されている。本年は甲子園野球100年記念の年でもある。本校のセンバツを含めて、3度の甲子園出場監督を努めた故・水谷貞雄監督の人と指導力について、岡田卓也OB会名誉顧問より特別講演を行っていただいた。

お悼み

江川澄子 さま

(北女19回卒)

平成29年3月ご逝去

江川さまは、北女の方々の代表として副会長・顧問を歴任くださり、さらには後輩の私たちに様々なことを伝えていってくださいました。心よりご冥福をお祈りいたします。

今回の第10回記念大会には、これまでご参加いただいている皆様をはじめ、女子ゴルフファアの皆様、卒業年次の比較的新しいゴルフファアの皆様、是非共にお誘い合わせの上多数ご参加下さいますようお願いいたします。



OB会総会出席者一同 岡田名誉顧問(前列中央)

岡田名誉顧問自ら水谷監督と共に高校野球を経験され、人間形成、企業運営に至るまで、迫力ある講演を賜りました。OB会といたしまして、本校野球部の益々の発展を期待します。

平成29年度会費納入者

(敬称略)

○終身会費(2万円)

- 安部一歩、飯村竜一、乾谷優月、今村駿介、岩瀬泰輔、大橋南月、加藤優季、北川葉、北川実佐子、北林実紗、栗田莉奈、田村楓、辻本悠太郎、中村海斗、濱島那奈子、濱野瑛史、樋口史華、平山貴大、水谷駿太、山川桃果、山崎里菜、山下樹友、赤松英祐、石橋みんと、今村美月、岡田萌花、國富心太郎、小林真大、近藤まい、坂本充、柴田淳史、菅谷友美、鈴木暖人、鈴木雄吾、外松海斗、高木梨帆、館永理、豊田智星、中川美咲、長屋知佳、西塚晴加、服部さくら、早川佳佑、平田晃洋、藤枝香帆、本田彩香、松永悠佑、松本環、森下みなみ、諸岡凜、山北紘也、麻生理華、石垣秀斗、伊藤祐輝、大原嘉乃、久保田さくら、小林大輝、嶋岡昌太郎、清水美優、高野陽平、寺尾優里、富澤しおり、長嶋文、中村友也、中室理沙、久安美生、平田雄大、平野亜海、堀内江美、宮田真帆、村上惣一郎、吉本美優菜、奥野晃司、小掠由樹、川波稜雅、久米永純、正彩乃、田名瀬菜里、富山紗帆、待鳥真由、村田真実子、赤塚駿、足立理乃、荒木千聖、井口夢香、伊藤広樹、岩島愛、梅山遼太、浦部悠真、江本仁美、大川颯太、加藤雪乃、小林海咲、佐藤颯花、佐藤友理沙、鈴木理恵、田川陽菜、田中哲平、種村真帆、永山裕士、庭木志歩、笠々考平、長谷川千晶、平塚諒大、前田香穂、前田悠希、松永菜央、丸山佑莉香、森菜々子、山崎進太郎、山田竜太郎、山中拓夢、山本章裕、李青海、秋元悠太郎、石井奨悟、伊藤彩、伊藤稜悟、上田京、内山あや、榮田真子、太田雄大、大橋康希、岡田昂大、岡田律輝、加藤里音、鎌田拓日下部真帆、葛巻ひかり、神原萌佳、後藤みなみ、近藤百花、佐藤七海、澤崎拓海、志摩英彦、城田香織、杉本浩樹、竹川皓基、田中陽菜、野呂春菜、長谷川拓海、濱田真里亜、平野里佳、古川菜、増田大輝、已上駿矢、宮崎雄太、村田洋人、森田祐己、守山太貴、山上亜美、横山加奈、吉武倫太郎、和田慎太郎、渡邊和真、會田知朗、阿久澤愛美、石川奈穂、石原勇輝、板垣朱莉、稲垣大雅、井上瑠梨、岩田京樹、位田大輔、内田将隆、江口紗耶、岡本有未、加藤将志、北野陽香、北畠果林、工藤理子、小林寛弥、近藤大河、佐藤拓海、柴田舞子、進藤早尊、鈴木美紅、田中博之、栃木駿哉、成田佳乃子、西田裕偉、西村康隆、丹羽優騎、平野桂人、平松俊哉、前田菜々子、水野裕貴、宮澤周平、村山大輔、森純花、森暉理、森口直哉、森田章仁、安田圭佑、山田彰生、伊藤あかり、伊藤元規、稲塚朱大雅、岡森一樹、加藤紗也、加藤佑美、川村真輝、久保田祐斗、河内仁美、佐藤俊介、佐藤佑紀、住田茉莉亜、高橋昂暉、高橋巧真、内藤大輝、中村謙吾、南部康太、丹賀澤志歩、林夢乃、東浦成哉、日紫喜悠輔、別府文香、細木隆豊、増田愛美、松田純、水谷天音、水谷衣美、三輪海大、池田彩歩人、池田知優、石井誠也、稲垣遙大、稲見健汰、宇野航平、大西康介、大西佑芽、岡出祐汰、川畑雄太、川村南斗、栗本奈月、佐藤壯汰、澤木公紀、島琴乃、白木裕太、杉森将人、竹下馨、谷穂乃佳、寺本悠里、富山毅、永井敦、中野嘉文、中森雄大、苗村孝貴、成田淳志、西村智貴、新田萌、福田紘子、星野哲宏、柵木裕、松岡昇汰、萬徳圭亮、村瀬菜摘、森彬乃、八島藍、安田祐香、山本樹奈、渡辺栄也、生貝遥香、伊藤彩乃、木俣莉咲、近藤ちなつ、坂井和夏菜、佐野愛理、椎木彩絵、砂田怜央、藤堂圭那、中濱佑希乃、本田小夏、水谷彩、水谷太亮、吉田和紗、吉田穂乃花、渡邊早紀、青池学斗、有馬優花、稲田将大、今泉梨花、岩花正宗、岡田健作、垣内創、加藤伸一朗、川田桃華、後藤万由子、近藤千夏、出口絵梨佳、中山葵、奈良菜央子、南部光亮、野呂和主、伴怜奈、本郷圭祐、奈永卓也、水谷みらい、込山ひろみ、井村正史、伊藤重和、森智、稲垣雄介、清水日向、辻昭衛、奥山浩介、西脇基夫

会員の皆様、誠にありがとうございました。

会館だより

H29年6月、四高44年度卒田中俊行様より10万円、また、H30年1月、四高62年度卒業生同窓会様より9万4574円ご寄付いただきました。ありがとうございます。

# 往 来



## 富中三八会解散に当たって

橋本 憲三  
(富中38回卒)

私達の富中三八会を昨年5月に館君宅で開き、6名が参加し、大変楽しいひとときを過ごしました。

しかし94歳を超え会員も10名近くになり互いに体力も衰えてきましたので、以後の会合を残念乍ら取り止める事に決定しました。

館君はじめ代々の幹事諸兄に改めて厚く感謝いたします。

一昨年迄は年に3回の会合や、その折々の近況や意見など

分野で、復興の中心となり、全力を注いで頑張り続けました。今の日本は、平和で自由で物に恵まれた良い時代になりました。色々な体験をしただけに人一倍感謝の心を抱きます。

私も教育者として頑張り続けましたが、今の人々は古い時代を知らぬだけに、今の時代のすばらしさを当たり前と思つてい

る様に思えてなりません。又、世界には大変貧しい人々や戦火に苦しんでいる国もあります。どうか広い分野に目を注ぎ、物より心を大切にし、いつも感謝の心を持って、幸せな日々を送るよう強く望みます。



## 雑感今昔

眞弓 威光  
(富中42回卒)

先ずは、本紙面にご指名を頂き皆様とお会い出来ることを、心より嬉しくお礼申し上げます。終戦直後、色々苦労がありました。私は福井工専を卒業しましたが、戦災のため十分な実

知識を更に求めるべく、京大(精密機械工学)、又、名古屋工業大学(紡織工学)で学び昭和26年1月に今の会社へ入社しました。以後、タイヤ技術部員として技術を磨き、その製品設計・金型設計を担当し、時代の変化に対応して来ました。

先進タイヤメーカーの動向にも対応すべき力を究明すべく、外国へ出張する機会も増え、冷静な判断力が重要になりました。

た。そういった事柄を更に進めるために組織的にも、モールド部新設、技術管理部の組織変更等も決断され「夫々の力」を發揮する環境が整備されて来ました。

新段階へ体制整備が進むうちに小生も定年を迎えることになりました。その後、6年間モールド製作そのものを担当するメーカーに派遣され、製作方法改善にも注力しました。

一方、私は毎日30分程度の散歩をしております。食事はしっかり摂りお米を食べる様にしております。又、田舎育ちの私にとって自然が大好きです。娘が主催している滋賀県甲賀市方面を中心に山里保全を考える「自



## 都鳥について

西脇 基夫  
(四高26年度卒)

この度、「都鳥」を四日市高校同窓会のホームページに掲載していただけることになり誠に光栄に思います。

「都鳥」は昭和27年3月に三重県立四日市高校を卒業した仲間で作るエッセイ集です。同好の志が集まり平成9年に思うままに始めました。次第に輪が広がり読者を含めて100名の同期生が参加しています。私たちの世代はともするとIT(情報技術)に疎い世代ですから電

子化された文章を読むことができる人は少数かもしれませんが、これから数十年後に四高の後輩となったひ孫やひこ孫が見つけて「おじいちゃんの作文が載っている」「おばあちゃんの作文が載っている」と読んでくれるかもしれない、あるいは数十年後、百年後に「都鳥」を読んでもくださった読者の皆さんが文章から時代の移り変わりを感じていただけるかもしれません。そんなことを想像すると著



## 徒然なるままに

伊藤 早女  
(四高通信制卒)

私も今年で78になりました。入学した頃は、桑名から通っていましたが、今は鈴鹿市に住んで居ります。一人ぐらしを始め

て10年。昨年は、同窓会で二見ヶ浦の方へ行きましたが、それも、最後になると思います。楽しい思い出として私の心の中に残っております。

今は裏にある少しばかりの畑で野菜や花など、そだてています。鈴鹿は、国分寺や古墳が、あちら、こちらに、多くあります。歴史の好きな私は、それらを見て回るのも楽しみです。

かさとと言う地名は、ヤマトタケルノミコトが、かさと、つえを、忘れて行ったことから、かさとと言うのだそうです。

能登神社には、ヤマトタケルが、まつられているのですが、亡くなられてから、白い鳥になって、かさと、つえを、とりに来たと聞いた事があります。

これからまたあたたかくなったら、いろいろなどころへ、行ってみたいと思っております。昨年のおくれ、体調をくずして居り、あたたかくなれば良くなると思っておりますが、わかりません。この年になると、今が一番良い時と思つてくらして行かないければ、一つ一つ、出来ない事がふえて行くのがわかります。今はただ、人に迷惑をかけるい様にと、願つてくらしています。出来れば、また、皆さんと会える日を楽しみにしています。

# 物

# 人



## 同窓会最高!

天春 千賀子

(四高56年度卒)

「誰だっけ?」四高卒業から三十数年が経ち卒業アルバムを見ても分からない人もいれば、「全然変わってないね!」とすぐ分かる人もいる中の同窓会。三十数年の時の流れは長く、見た目は確かに変わっちゃったけれどあの時の同級生達が確かに其処にいる。話をし出せばすぐに学生時代に戻れるのが同窓会の良い所。いえ、いえ、高校時代には話をしたこともなかった人と仲良くなり掛替えない友人に今なれるのが同窓会の最高な所です。高校時代の懐かしい出来事だけでなく、その時は気が付かなかった事や知らなかった事件や出来事を耳にして驚き、笑いが止まらないのが楽しくてしょうがない。高校時代とは違う今の自分達の新たな出会いが高校時代には感じられなかった楽しさを生み出してくれるのが最高なのです。

現代のSNSのお蔭で海外や遠方の友人ともすぐに連絡がとれる様になった事も今の友人関係には欠かせません。

同窓会の連絡も葉書でするのは大変ですが、SNSで連絡すれば友が友に声を掛けてくれるので全員に連絡するのは不可能ですが大勢の人に声をかけることができます。昭和56年度卒の同級生のLINEグループの参加者は現在75名。FBやメール、携帯電話なら繋がる人も増えました。あれやこれやで現在の同級生の状況等が身近に感じられるのも楽しみです。

将来は、何処にいても同級生と繋がっていられる事が精神的に安心感や元気をもらえ、更には同級生や同窓会の先輩、後輩の方々と新たな友人関係が未知の可能性や楽しみを大きく膨らませてくれる予感がします。



## 高校から現在までを振り返って

中野 真紀子

(四高H24年度卒)

四日市高校は文武両道の伝統があり、私自身も部活動と勉学の両立を目標に毎日を過ごしていました。部活動では県大会出場を果たすことができ、3年生で引退するまでチームメイトと共に時間を過ごすことができました。また部活動だけではなく、体育祭やクラスマッチ、四高祭などの各行事に全力で取り組み、クラスでの絆を深めることができ、良い思い出になりました。さらに高校生活を通して、

人との出会いに恵まれていたと思います。受験勉強や試験期間は、同級生と励まし合い乗り越えることができました。進路に関する真面目な話をしたり、修学旅行で目一杯楽しんだり毎日学校へ行くことが楽しみでした。高校卒業後も変わらぬ関係が続いています。また担任の先生には進路や勉強方法に関する相談にたくさん乗って頂きました。部活動の顧問の先生には、練習する環境を整えて頂いたおかげで、県大会に出場することができたと思っています。



## みんな忘れていくはずだった

野島 博之

(四高51年度卒)

18歳。大学には落ちたけれど、僕は失意のまま東京に出た。何だか色々なことに巻き込まれて、ほとんど四日市には帰らなかった。お金もなかった。

父親は転勤族だった。やがて、帰るべき家(社宅)もなくなってしまう。

紆余曲折を経て、やむを得ず進んだ道は狭小で、生存競争も想像以上にきびしかった。時たま三重県出身者に出会うことはあったが、四高の先輩や後輩は身近にはいなかった。うまく言えないけれど、記憶は風化して、なぜかなお強くなる。18歳まで過ごした四日市のことを、実は片時も忘れたことはない。同郷や同窓の仲間を持つヒトが、今でもとてももうらやましい。どこに

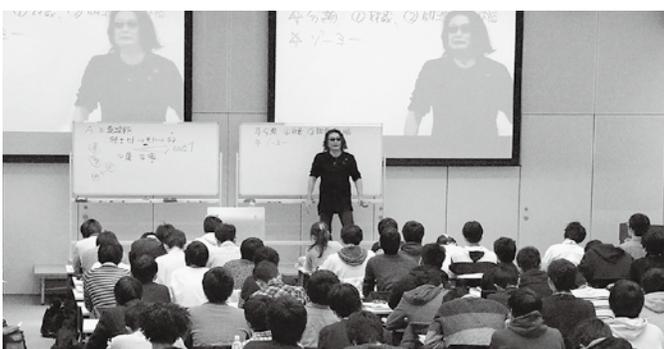
いつでも絶滅危惧的な存在だったことが、何度か遭遇した土俵際で、もうちょっと踏ん張ってみようかというエネルギーマンになった気がする。あの日からおよそ40年。大海のなかでうごめく、わずかな影を見失わずに発見してくれた級友から「野島君、同窓会に必ず来てね!」。

飛び出していったまま何の

挨拶もない非礼な男のことなど、みんな忘れていくはずだった。だから、嬉しい命令だった。

それでもやっぱり考える。鉄砲玉がブーメランと化して、果たして意味があるのだろうか。わずかな可能性を指摘するとすれば、「役立たず!」と罵られて打ち捨てられるまで、現役を退くつもりがないこと。

老いつつあるボンコツ卒業生がふるさとのためにできることを、神妙に懸命に考えた



授業風景

現在は大学で、分子細胞生物学を専攻しています。生体内で起こる様々な現象のメカニズムを解明することを目的として毎日研究に取り組んでいます。また昨年6月には四日市高校にて教育実習を行い、大変貴重な経験をさせて頂きました。卒業後は専攻とは異なる分野の職に就く予定ですが、大学4年間を通して学んだことを生かし、周りの人たちに恩返しするために一生懸命努力していきたいです。

リレー随想（第21回）

# 五十年後の「舞踏会の手帳」



小林千三（四高41年度卒）

昨年、昭和41年度卒四日市高等学校同窓会を開催いたしました。きっかけは、長くリウマチの重病で、家から外出できなかつた県外在住の同窓生の言葉でした。「四高の学年別の同窓会が久しく開かれていない。50年前の同期の皆様にお会いしたい。」

学年別幹事5名は、いたく反省しました。同窓会総会に交互に誘い合わせて出席する以外、なんの貢献もしていなかったからです。その後、奮起しました。

高校3年時の秋に催された映画会で上映されたのは「舞踏会の手帳」と「名もなく貧しく美しく」でした。あふれ出る涙のまま、力を尽くして上映してくれた先生にお礼を申し上げた所、「将来コモ湖で同窓会をやってね」と励ましてくれました。

授業の思い出を述べますと、夏休み明けに「諸君は夏休みにどんな本を読みましたか？ 僕は『カラマーゾフの兄弟』を読み返したよ。相変わらず難解だったが、書くことよりは楽だよ」と語った物理のO先生。京大型カードに『中央アジア探検記 著：ヘディン』と書いて渡してくれた榊井幹生先生。「君は茫洋としているから、京大文学部東洋史学科へ進め」との進学の勧めでした。

一方、「ベビーブームで生まれた俺たちは、中学受験・高校受験で、

ここまで来たが、やっと四高に入ったら大学受験の模擬試験ばかり。それが済んだら、就職試験さ。あげくの果ては、老人が多すぎて養老院も試験地獄か？」と喝破して異彩を放っていた同窓生の姿が甦ってきます。

思想の運命あるいは思想の寿命ということも考えさせられるのが、ベビー・ブーマーの特徴かもしれません。

実在主義、サルトルはどこへ消えてしまったのかな？ ベトナムへ行った事もない若者達のベトナム戦争反対運動は何だったのか？ 煽った教授達も行ったことがなかったというお粗末な体たらくでしたが、「運動」のさ中っていると、気がつかぬものでした。

大学生があれほど熱中して、貪り読んだ高橋和巳も、「古傷に触れるな」の如き扱いをされています。かつて、山岡荘八の「徳川家康」が空前のブームを起しましたが、今や打ち捨てられて久しいのはご承知の通りです。司馬遼太郎も同じ運命を辿ることでしょう。

青春は、待たずに、いきなりやってきて、胸をしめつけ、わびしく、苦しく、さわがしく、気が付けば、もう一気に過ぎ去っていて。

大いに盛り上がった昭和41年度卒四高同窓会は来年ハワイで、再来年はコモ湖で開くことが決まっています。



四日市高等学校は平成31年度に創立120周年を迎えます。平成21年に創立110周年記念式典を挙行しており、10年後の今回も周年記念行事を行おうという話しを持ち上がり、平成29年度になつてからの準備が動き始めました。

周年記念事業を行うに当たっては、同窓会、PTA、学校の3者の了解と協力が不可欠というところで、実行委員会の委員に3者から代表が入っていたべくこととし、まず「第1回創立120周年記念事業実行委員会」を7月4日（火）の午前10時より四日市高校において開催しました。その会議では、実行委員会の組織体制が決定され、会長に伊藤勲作同窓会長、副会長に西脇壽郎同窓会副会長と辻和則PTA会長と和田欣子校長が選任されました。また委員としては、青山晶同窓会副会長、大森智之同窓会会計、若菜淳二PTA副会長、内山義隆PTA書記、丹羽徹教頭、中村靖彦事務長が専任されました。会議ではその他記念事業のあり方について、110周年記念行事の反省も踏まえて討議がなされ、次回開催までの課題等を整理し、11月11日（土）に

第2回の委員会を開催することを確認しました。

第2回の委員会では、まず「三重県立四日市高等学校 創立百周年記念事業 資金管理委員会規約」（平成21年3月31日改正施行）を確認し、その規約に則り、同窓会・PTA・学校三者の合意のもとで、資金管理委員会が管理する「創立百周年記念事業資金」の中から今回の120周年記念事業費を支出することを確認しました。更に事業の具体的な内容として、①記念式典を平成31年10月（12日又は19日の土曜日が候補日）に四日市市文化会館（予定）で実施する。②式典後に記念講演を同窓生である藤田正勝京都大学特定教授（昭和43年卒）を講師に迎えて開催する。③創立110周年記念誌以降の10年間分の出来事を中心として、120周年記念誌を発行する。④「映像で振り返る120年」（仮）のDVDを制作し、記念品とする。以上のことを決定確認しました。

来年度に入ってから、必要に応じて実行委員会を継続開催し、また四日市高校内でも校内実行委員会を組織して体制を整え、いよいよ本格的に準備を進めて行くこととなります。今後同窓会のご協力をよろしくお願いたします。

## 編集後記

考えてみると五輪は4年毎、遷宮は20年毎。常若に向ける周年の意義を母校の歴史と重ね、伝統から生まれる新たな息吹を感じつつ、やっと校了を迎えます。  
（小林）

## お知らせ

# 通信制卒業の皆さん方へ

通信制課程が閉講しまして早くも10年が過ぎようとしています。閉講に伴い色々な行事の中、記念誌の発行を在職中の先生、退職された先生、在校生、OB、OGの卒業生始め、関係者の皆さん方から多くの投稿をいただき、通信課程の歴史と共に、1冊の記念誌を作成しました。

当時の関係者各位様方には配布いたしました。が、貴重な記念誌をまだ在庫しており、10年を迎え再度配布を希望される方を募ります。

何時までも倉庫の埃の中で埋もれさせてはいけなと、今回大切な紙面をお借りしまして連絡させて頂きました。ご連絡の程宜しくお願いたします。

四日市高校同窓会  
通信代表 名越 一大

連絡先 519-0102  
〒 亀山市和田町37

090(6570)5047

# 学園だより



## 仲間の大切さ

卒業生代表

川島 聡太

私は、四日市高校で、熱心に指導して下さった先生方や、共に学ぶ仲間と過ごせたことを本当に嬉しく思います。私の充実した毎日は、たくさんの仲間のおかげで成り立っていました。

私にとって高校での勉強はとても難しく、ついていくことがやっとのときもありました。そんな時も助けてくれたのは仲間でした。分からない問題があるときは丁寧に教えてくれ、ときには私にも頼ってくれました。そういった繋がりこそが支えであり、励ましになりました。

私は柔道部に所属していました。部活動から学んだものは競技の技術だけではなく、コミュニケーションをとることの大切さ、仲間が出してくれる意見のありがたさも、とても感じました。柔道は個人競技ですが、一人では練習は出来ません。切磋琢磨し練習をしてくれる仲間がいたことで、強くなることができたのです。チームとして勝利したときの嬉しさは忘れられません。

四日市高校の校章である「八稜星」は希望に輝く若人の多方面に発展しようとする情熱をかたどっています。まさにそのような情熱をもった仲間と過ごせた日々は私にとって本当にかげがえのないものです。

SGHの活動では様々な分野でご活躍されている方の講演を聞かせていただきました。日常触れ合うことのない世界のお話は、私たちの考えを深く豊かなものにしてくれ、将来を考える材料を与えてくれました。

高校生活で得た多くのことを活かして、次のステージではさらに成長したいと思います。

## インターハイに出場して

体操部 大野 哲平



私は去年、新体操競技で全国高等学校総合体育大会(南東北総体2017インターハイ)に出場しました。私は5歳から新体操を始め12年間ずっと続けています。ジュニアと呼ばれる小4から中3までの時代では全国大会で種目別2位、個人総合3位と成績を残してきました。しかし高校生になった途端、環境の大幅な変化からか、思うように結果が残せず、高1のときに出場した全国高校選抜大会では個人総合8位、東海大会ですら優勝できずにいました。「勝ち方を忘れた」、「もう勝てない」、という気持ちにもなりました。しかし、インターハイ出場が決まって、もう一度、練習メニューを見直し、メンタルトレーニングも取り入れ、「絶対に負けない、負けるはずがない」というほど練習しました。もう倒れるほど演技の練習、練習後ふくらはぎが痛すぎて歩けないほどのタンプリング練習、数え切れないほどの投げ技練習。この練習内容は負けに負け続けてきた自分だからできた執念による練習だと思っています。

そして迎えたインターハイ。結果は個人総合準優勝でした。最終種目をノーミスで終えた時はこれ以上ない達成感と「勝つ」ということを思い出しました。私はやっと全国の表彰台に戻ってくることができました。これは努力のおかげ... いや違います。これはずっと私を支えてくれた両親のおかげです。感謝しきれません。本当に有難う。

私は今年3月全国高校選抜大会に出場します。この大会が引退試合となるので、しっかり通しきり、新体操を楽しみ、「感謝の演技」ができるよう頑張ります。

## 躍進する四高生 (SGH事業報告)

教頭 廣島 朗

本校では、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成をめざす「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」事業の指定をうけて四年目となっています。生徒たちは社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付けるため、グローバル・リーダー育成に資する様々な教育活動を以下に紹介します。

卒業生である経済産業省中小企業庁の田村真善さん(4月)やアカデミー科学技術賞を受賞されたFoundryシニアソフトウェアエンジニアの中垣清介さん(5月)をはじめ、JAXA S Aシステムプロジェクトマネージャーの松浦真弓さん(6月)、セルビアベオグラード大学の山崎佳代子さん(11月)の講演や、各個人が設定したテーマに関する課題研究論文を作成することにより、グローバル・マインドを育成しています。課題研究をさらに探究する意識の高い生徒(1年69名、2年44名)は「グローバル・リーダー学」を履修し、各分野で専門的に活躍されている大学教員や企業人等から指導を受けるとともに、カンボジア(12名)、中国天津(12名)への海外フィールドワークや、他県SGH校の高校生との学習交流会に積極的に参加し、グローバル・リーダーとしての資質向上を目指して取り組みました。

本年度新たに四日市商工会議所のご協力をいただいて「グローバル企業見学研修会」として、1年生26名が8月にJ S R株式会社を訪問しました。ここでは工場見学や研究所員さんとの懇談会により海外勤務の経験や企業研究活動の様子を知ることができ、将来の進路選択や今後の学習意欲向上につながる



オーストラリア海外語学研修にて

がりました。語学力、英語をツールとしたコミュニケーション能力の育成として、外国人講師による英語講演会(10月)や、放課後希望者に課題研究テーマに関する内容について英語で討論を行う「白熱英語講座」を8回実施し、英語でクリエティブな発想で考える学習が行われました。また「ポジティブシンキング」を合言葉に、5日間アメリカの優秀な大学生と英語だけでディスカッション、プロジェクトワークを行う「エンパワメントプログラム」にも取り組みました。特に、SGH事業の指定を契機にはじめたオーストラリア海外語学研修では、募集定員を上回る多くの希望があり、選考により2学年30名の生徒が10日間ゴールドコーストにあるグリフィス大学で授業や大学生との交流活動に取り組んだり、ネラング高校を訪問して日本文化を紹介したりと充実した内容でした。この研修に関わり、同窓会から当研修参加の生徒への支援をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

# 同窓生交歓



四日市高校30会 秋の集い（最終回） H29.10.21 於：四日市都ホテル



第7回関東四高会 H29.12.2 於：創家



四高56年度卒同窓会 H29.7.22 於：LANAI



四高62年度卒30周年同窓会  
H30.1.2 於：四日市都ホテル



北海道富中・四高会 H29.6.30 於：札幌すすきの川基本店



四高41年度卒卒後50年記念学年同窓会 H29.9.17 於：四日市都ホテル



四高40年度卒（41年3月卒）古希同窓会 H29.11.5 於：四日市都ホテル



星陵会関東地区懇親会 H29.11.26 於：KITTE丸の内



四高33年度卒 四日市高校同窓会  
H29.5.21 於：プラトンホテル四日市



第12回関西四高会 H29.9.30 於：ホテルグランヴィア大阪



森下杯（四高卓球部OB会卓球大会）  
H29.4.16 於：あさけプラザ体育館



通信制・バス旅行 H29.6.4 於：浜松市気賀の関



四高32年度卒第33回関東サニ一会  
H29.10.17 於：品川プリンスホテル